

2025 年 10 月 14 日

2025 年大阪・関西万博で ENEOS と印 NGEL がグリーンメタノール供給覚書締結

ENEOS 株式会社（本社：東京都千代田区、以下「ENEOS」）は、インド国営電力公社 NTPC Limited の完全子会社である NTPC Green Energy Limited（本社：ニューデリー、以下「NGEL」）と 2025 年日本国際博覧会（以下、「大阪・関西万博」）におけるインドパビリオン内で、NGEL がインド・アンドラプラデシュ州で生産予定の再生可能エネルギー由来のグリーンメタノール、および水素誘導品(※1)の供給に係る覚書を、締結したことをお知らせいたします。

2025 年 10 月 10 日、大阪・関西万博インドパビリオンで実施された調印式において、ENEOS 次世代燃料部長大立目悟と NGEL Shri Ravindra Sudehly, Additional General Manager が「グリーンメタノール、および水素誘導品の供給に係る覚書」（以下、「MOU」）を交換しました。

先般より、NGEL は、日本国経済産業省の「グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金」(※2)を活用し、東洋エンジニアリング株式会社と共同で、インド・アンドラプラデシュ州でのグリーンメタノールの製造及び事業性に関する FS(事業可能性調査)を実施してきました。ENEOS は本事業で製造されるグリーンメタノールのオフテイク検討に参画しており、今般、FS 完了と FEED(基本設計)フェイズへの移行を契機として、オフテイクに関する協議をさらに具体化させるため、MOU の締結に至りました。

今後、ENEOS と NGEL は、両国政府や関係機関との連携・協働し、日印のエネルギーtransition基盤構築をリードすることにより、世界的なカーボンニュートラル社会の実現に挑戦していきます。

<NTPC Green Energy Limited 概要>

NTPC Green Energy Limited は、インド国内の 1/4 の電力需要を賄うインド最大の国営電力公社である NTPC の完全子会社で、再生可能エネルギー事業を担う企業です。現在 7.2GW 以上のグリーン電源容量を保有し、2032 年までに 60GW の達成を目指しています。太陽光・風力・グリーン水素などを通じて、持続可能なエネルギーの供給と脱炭素社会の実現に貢献しています。

詳細は、<https://www.ngel.in> をご覧ください。

<ENEOS 株式会社概要>

ENEOS グループは、「今日のあたり前を支え、明日のあたり前をリードする」という決意のもと、長期

ビジョンに掲げる「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」の両立を目指します。当社は、カーボンニュートラル社会への貢献が期待できる次世代燃料の取り組みを含め、今後もさまざまな エネルギー・トランジションへの取り組みを推進してまいります。

詳細は、<https://www.eneos.co.jp/>をご覧ください。

※1 グリーン水素誘導品：合成 SAF・燃料、水素運搬キャリアとしての有機ハイドライド等

※2 グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金：詳細はこちらをご覧ください

<調印式写真>



左から (敬称略)

在大阪・神戸インド総領事館、総領事、チャンドル・アツパル

NTPC Green Energy Limited, Additional General Manager, Shri Ravindra Sudehely,

ENEOS 株式会社、次世代燃料部長、大立目 悟

インドパビリオン 総支配人、ガリマ・ミタル